

# Nobody talks, Nothing changes

この困った状況を10日間で全国民に知らせよう。みんなで判断しよう。

30万署名  
パレード



## 青森県で核燃料を再処理する ロッカショ工場を止めませんか

全国各地の生協や市民団体、食べ物を取り扱う産直団体が呼びかけ、農家や食品メーカー、海を守りたいサーファーなど、596団体が賛同し、集まった30万筆（2007年11月現在）の署名を、2008年1月28日（月）に国会に提出します。

**2008年1月27日（日）**

**会場：日比谷野外大音楽堂**

（東京メトロ丸の内線・千代田線 霞ヶ関駅より徒歩3分）

**12:00開場 / 13:00開始 - 14:30終了**

**14:30パレードスタート ※**

※NO NUKES MORE HEARTSと共催

炊き出し：三陸魚介汁

※数に限りがあります。ご了承ください。

<持ち物>

マイお椀、マイ箸、ふきん（洗い場がないので食べた後のお椀を拭う用）、温かい上着、ひざ掛け、思いを書いて持ち手を付けたメッセージプラカードなどがあると便利です。

**入場  
無料**

### 出演

■こまっちゃクレズマ：Komatcha Klezmer

2007年、NHK「にほんごであそぼ」でも活躍するおおたか静流(vo)と、初CD作品『すっぽんぼん』を発表。サクセス・クラリネット梅津和時、サクセス多田葉子、ヴァイオリン松井亜由美、アコーディオン張 紅陽、チューバ関島岳郎  
<http://www.k3.dion.ne.jp/~u-shi/>

■重茂漁協（岩手県宮古市）

■山守 倫明（サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン代表）

八丁浜・琴引浜をホームポイントとするサーファー。ポイ捨てごみ・漂着ごみ・消波ブロックの投入・埋め立てによるホームポイントの破壊に感じ、サーファーによるビーチクリーンナップなどの啓蒙活動や埋め立て反対運動を起こす。  
<http://www.surfrider.jp/>

■マエキタミヤコ（広告メディアクリエイティブ・サステナ代表）

「エココロ」編集主幹。「ぬりえピースプラカード」新聞広告で準広告電通賞など多数受賞。「100万人のキャンドルナイト」よびかけ人代表。「ほっとけない世界のまじしさ」キャンペーンアドバイザー。立教大学非常勤講師。近著に『エコシフト』講談社現代新書。

ほか

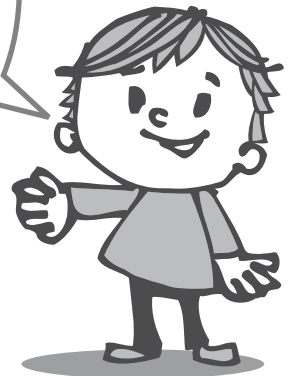
- 一、本格稼働が2008年2月に予定されている青森県の「ロッカショ工場」(六ヶ所再処理工場)は、原子力発電所が出す放射能1年分を1日で海や空気中に出します。
- 二、その放射能は青森のりんごに届き、さらに海流や風に乗って、ほたて、カキ、うに、さんま、鮭、いくら、ホヤ、あわび、わかめ、ひらめ、あいなめ、などがとれるゆたかな岩手県三陸の海に届きます。
- 三、影響は岩手だけではありません。北海道、東北にも及びます。ゆたかな東北や北海道の食材が、将来食べられなくなってしまうなんて困ります。

私たちは今、400人にひとり、です。(30万署名だから)  
今日から毎日ひとり、10日間、知らない人に伝えよう。

**「このことを知らないひとに一日ひとり伝えてください」**  
ということ。

そうすれば2月5日火曜日には、全国民がこのことを知ります。  
そうすれば、日本は変わります。

みんなが1日ひとりに知らせていけば、2日目には2人、3日目には4人、4日目には8人…と  
10日目には512人が知る計算になります。



## コラム

### ●国際的にも批判の声

イギリスのセラフィールド再処理工場から出た放射能で北海の海産物は汚染され、2002年にはノルウェーの首相が再処理工場への市民の抗議運動を支持するなど、国際問題になっています。

### ●かかりすぎるコスト

再処理には11兆円かかります(2003年 電気事業連合会発表)。お金のかかりすぎです。内訳は、建設費約3兆3700億円、運転・保守費約6兆800億円、工場の解体・廃棄物処理費約2兆2000億円です。これらのコストは電力消費者である国民一人一人からも、すでに毎月の電気代として徴収されています。

### ●報道を待つより、私たちから知らせよう

報道されるのを待つより、私たちから知らせよう。日本では環境NGOや、坂本龍一さんが立ち上げたウェブサイト「STOP ROKKASHO」など、著名人にも反対運動が広がっています。ところがテレビ局や新聞は、経済産業省や東京電力からの情報を大きく扱い、一般市民に情報過疎が起きています。もう待っていても変わりませんし、待つ必要もありません。私たちから知らないひとたちへ。ていねいに知らせていきましょう。すべてのひとに賛同してもらわなければならないのではなく、まず、すべてのひとに知ってもらわなければならないのです。

### ●使い道がないプルトニウム

高いコストをかけて使用済核燃料を「再処理」しても、使い道もなく、資源節約にもなりません。「再処理」で「プルトニウム」を取り出すのは、限りがある資源「ウラン」の代わりにするためでした。しかし、そもそも「プルトニウム」を使う予定だった高速増殖炉「もんじゅ」は事故で止まったまま。実用化のめどもたっていません。代替策として「プルトニウム」と「ウラン」をまぜて原発の原料にする「プルサーマル」計画が出てきましたが、燃料内訳は、プルトニウム3%、ウラン97%です。つまりウランの埋蔵量があと80年分とするとそれが83年分にのびるだけ。いほど資源節約になっていません。

### ●こんなことをしているのは日本だけ

日本以外の世界の国々が持っている再処理工場は、ほとんど軍事施設です。核武装のためにプルトニウムを作っています。核兵器を持たない国で、ここまで巨大な再処理工場を持っているのは日本だけです。

### ●再処理は必要ない

「再処理」をやめても、原発はとまりませんし、電気は作れます。原子力発電をしたあとに残る「使用済核燃料」を処理するのが「再処理工場」ですが、再処理しなくても、地下に埋めて処分する「直接処分」という選択肢があります。1日で原発1年分の放射能を出す「再処理」は「直接処分」よりも、はるかに大きな環境汚染を引き起こします。